



歯のはなし

「1本くらい大丈夫…」とっていませんか？ “失った歯を放置”すると、どうなるの？

むし歯や歯周病などで歯を失った後、それをそのまま放置しているとどうなると思いますか？ 前歯の場合は見た目が気になるので、代替りの差し歯を入れる治療をしますが、奥歯の場合はどうでしょう？ 「見た目にもわからないし、意外と噛めるから放置しても大丈夫かな？」なんて思ったりしていませんか？ そこで今回は、「**歯を失った時、そのまま放置しているとどうなるのか**」についてお話しします。



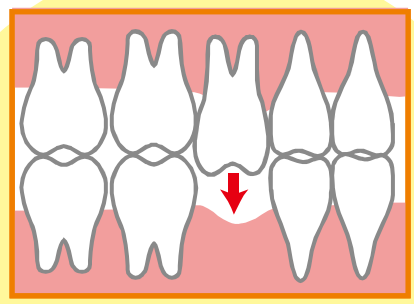
50代から歯を失うスピードが加速

まずは歯の喪失が世代ごとにどのくらいあるのか見てみましょう。厚生労働省が平成28年に実施した歯科疾患実態調査によると、20代・30代で歯を失う本数は一人平均0.1~0.3本と、この世代において歯を失うことはまれといえます。次に、40代で歯を失う本数は平均0.8~0.9本と、少し割合は高くなるもののまだ平均1本以下です。しかし、安心できないのはここからです。歯を失う本数が50~54歳では平均2本に急増すると、55~59歳では平均3.1本、60~64歳では平均4.6本、65~69歳では平均6.7本と増加の一途をたどります。

失った歯を放置していると起きること

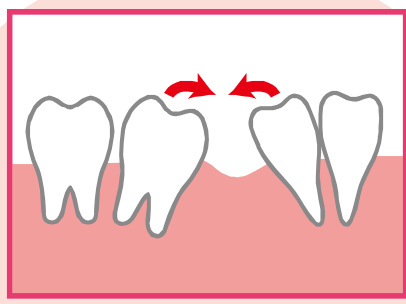
40代くらいまでは歯を失うことの実感が湧かないかもしれませんが、50代以降になると歯を喪失する経験をされる方が増えてきます。では、歯を失った状態を**そのまま放置していたら**どうなるのでしょうか？

① 歯が伸びてくる

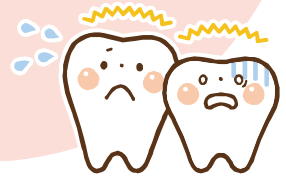


「歯が伸びることなんてあるの!？」と思われるかもしれませんが、抜けた状態をそのまま放置していると、**その空いているスペースに対合している歯が伸びてきてしまいます**。これは歯が成長して伸びているのではなく、抜けた空間に向かって歯が浮きあがってきている状態です。

② 歯が倒れてくる



また、歯が抜けたまま放置していると、時間の経過とともにその空間に向かって**両脇の歯が徐々に倒れてきて**しまいます。



抜けた歯を放置しているとさらに歯を失う

歯というのは日々少しずつ動いていますが、**すべての歯がきちんと揃っていることでお互いが支え合い、キレイな歯並びや噛み合わせをキープ**してくれています。そのため、歯が抜けたままの状態を放置していると、**歯並びや噛み合わせに不具合**が生じたり、さらに歯と歯の間にも隙間ができたり、一部の歯に負担がかかったりして、**むし歯や歯周病のリスクも高まって**しまいます。成人が抜歯する原因の第一位は「歯周病」、第二位は「むし歯」ですから、抜けてしまった歯を放置しているとさらに歯を失いやすくなるという、負のスパイラルに陥りかねません。歯が抜けた時は、きちんと治療をするようにしましょう！

